

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成26年第3回沖縄県議会(定例会)

07月04日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	玉城 義和(県民ネット)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 普天間飛行場の県外移設の公約について

- ア 知事公約は「日米共同声明を見直し県外移設の実現」ということだがこの公約は生きているのか。
- イ 辺野古埋立申請の承認と公約は明らかに矛盾すると思うがどうか。
- ウ 「5年以内の普天間飛行場の運用停止閉鎖」とはどのような状態を言うのか。また政府の取り組みはどうか。
- エ 知事は普天間の移設問題については「あれは道筋がついた」(6月17日琉球新報)と述べているが真意は何か。

(2) 6・23平和宣言について

- ア 6・23平和宣言をめぐる文言について当初県外移設が削除されていたと報じられている。経過について具体的に説明されたし。
- イ 宣言文の作成について民間人も含めた起草委員会のようなものをつくり対応したらどうか。

(3) 集団的自衛権の行使について知事の見解は。

2 辺野古埋立申請承認等に関して

- (1) 11月12日提出の中間報告と土建部の審査結果、申請承認の経過を説明されたし。
- (2) 「普天間」の代替施設工事に向けて立入操業制限水域の大幅拡大に日米が合意したと報じられているが法的にはどのような根拠があると考えているか。(5・15メモ、地位協定、漁業操業制限法)
- (3) また、この制限区域と工事の施行区域が同一範囲であることについての見解は。
- (4) 移設関連工事が進んでいけば反対派に対する取り締まりが予想される。何としても県民同士の衝突と分断は避けなければならない。県としての考え方を明らかにされたい。
- (5) 2011年の評価書には係船機能つき護岸は200メートル、2013年3月の公有水面埋立承認願書では271メートルになっている。また斜路も設けられている。これらは揚陸艇(LCAC)や高速輸送船の運用が可能となり明らかに軍港機能だと考えるが県の見解は。

3 県民生活の実態について

- (1) 以下の項目のそれぞれ過去10年間の推移について総括的見解を。また全国比ではどうか。
 - ア 国民年金の納付状況
 - イ 生活保護所帯
 - ウ 就学援助受給者
 - エ 県最低賃金
 - オ 離婚数と婚姻数
 - カ 1人当たり県民所得

4 交通政策について

(1) 国道58号などの朝・夕の混雑は深刻。対応を伺う。

(2) 鉄道導入について進捗状況を問う。

5 統合リゾート(IR)施設、カジノの導入について、知事の基本的考え方について

6 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成26年第3回沖縄県議会(定例会)

07月04日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	比嘉 京子(社大党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 普天間基地移設問題について</p> <p>(1) 知事発言について</p> <p>ア 「普天間基地の危険性除去は喫緊の課題である」との発言を繰り返されたが、喫緊とはどういう意味か。</p> <p>イ 普天間基地の固定化発言に対し「政治の墮落」であると切り捨てたが、現在の考えはどうか。</p> <p>ウ 昨年12月25日首相官邸での発言の中で「よい正月を迎えられる」との発言があった。その真意、心情を問う。</p> <p>(2) 辺野古移設が新基地ではなく代替基地であるという根拠は何か。</p> <p>(3) 辺野古埋立承認について</p> <p>ア 辺野古埋立申請書に対するジュゴン、オスプレイ、埋立土砂による外来種混入について防衛局の最終回答はどうなっているか。</p> <p>イ ジュゴン、オスプレイ、外来種混入に対し土木部が「十分配慮」されていると判断した根拠は何か。</p> <p>ウ 知事の承認は政治的判断によるものではないとする根拠は何か。</p> <p>2 基地と経済について</p> <p>(1) 基地経済への直近の依存度は何%か。</p> <p>(2) 既返還基地跡地(新都心・小禄金城・桑江北前)の返還前と返還後の経済効果と雇用効果を問う。</p> <p>(3) 返還予定基地跡地(普天間・キャンプ桑江・キャンプ瑞慶覧・牧港補給地区・那覇港湾)の現在の経済効果と雇用効果、返還後の経済効果と雇用効果を問う。</p> <p>3 医療行政について</p> <p>(1) 医師不足について</p> <p>ア 現在、県立病院の医師不足は何名か。</p> <p>(2) 医師確保対策について</p> <p>ア 医師確保関連事業の直近3年間の予算は幾らか。</p> <p>イ 予算と医師確保の費用対効果はどうか。</p> <p>ウ 琉球大学へ年間幾ら投じているか、また県への医師派遣は何名か(3年間)。</p> <p>エ 琉球大学からの医師派遣は減少傾向にあると認識しているがその原因と対策を問う。</p> <p>(3) 県立八重山病院の改築について進捗状況を問う。</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成26年第3回沖縄県議会(定例会)

07月04日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	山内 末子(県民ネット)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 政府の成長戦略や骨太方針で沖縄振興の推進が大きく打ち出されている。県知事選挙とリンクしているか見解を伺う。</p> <p>(2) 高江ヘリパッドの「通行妨害禁止」裁判、スラップ訴訟として全国から注目されたが、住民敗訴が確定した。住民の基地反対運動に対する知事の見解を伺う。</p> <p>(3) 変化する海兵隊の役割と在沖海兵隊の駐留意義について県はこれまでどのように検証してきたか。</p> <p>(4) イタリアの「基地使用協定」、ドイツの「ボン補足協定の改定」を参考に「基地使用協定」締結を求めるべきではないか。</p> <p>(5) 5月にフィリピンから嘉手納基地に向かう途中の米軍ヘリが宮古空港へ着陸した際、米兵が検疫を受けず滞在したようだが、その対応と今後の対策を伺う。</p> <p>2 ハーグ条約加盟への対応について</p> <p>(1) 本県の国際結婚の状況、5年間の推移、全国比について</p> <p>(2) 条約締結に伴う本県の取り組み状況と課題を伺う。</p> <p>3 伝統工芸産業振興について</p> <p>(1) 伝統工芸製品の5年間の生産額の推移について</p> <p>(2) 工芸士の育成、販路拡大等、取り組み状況と今後の振興計画を伺う。</p> <p>4 マリンレジャーの振興について</p> <p>(1) マリンレジャー推進について、取り組み状況と課題を伺う。</p> <p>(2) 海の事故の実態と安全対策について</p> <p>5 自民党の「日本再生ビジョン」に盛り込まれたプロ野球16球団構想に沖縄県の名前が挙がっているが、実現性はどうか見解を伺う。</p> <p>6 全国的に携帯電話を通じて犯罪に巻き込まれる事件がふえている。県内児童生徒の状況と携帯電話の所持の実態を伺う。</p> <p>7 各県、各市町村にある慰霊碑の管理状況と管理体制、今後の課題について</p> <p>8 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成26年第3回沖縄県議会(定例会)

07月04日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	儀間 光秀(そうぞう)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 地域公共交通総合連携計画について (1) バスレーン延長に伴う国道58号の交通渋滞対策について伺う。</p> <p>2 防犯カメラ設置状況について (1) 現状と今後の計画について伺う。</p> <p>3 消防隊の先進的消防訓練施設の設置について (1) 設置計画の有無について伺う。</p> <p>4 伊平屋・伊是名架橋について (1) 両村から要請を受けての今後の対応について伺う。</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成26年第3回沖縄県議会(定例会)

07月04日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	呉屋 宏(そうぞう)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 平成26年度 重点施策について</p> <p>(1) 沖縄らしい自然と歴史・伝統・文化を大切にする島を目指して</p> <p>ア 自然環境の持続可能な利用を図るため、サンゴ礁保全に向けたオニヒトデ対策などに取り組むとあるが現状はどうか。</p> <p>(2) 心豊かで安全・安心に暮らせる島を目指して</p> <p>ア 沖縄県人口増加計画とは何か。</p> <p>イ 安心こども基金の保育士等処遇改善臨時特例事業の現状はどうか。</p> <p>2 キャンプ瑞慶覧西普天間地区の返還について</p> <p>(1) 公共用地の先行取得について</p> <p>ア 宜野湾市と宜野湾地主会が昨年11月に要望した事項はどのような状況か。</p> <p>イ 西普天間の跡地利用計画はどのようになっているか。</p> <p>ウ 跡地利用と周辺整備をどのように考えているか。</p>			

一般質問通告表

平成26年第3回沖縄県議会(定例会)

07月04日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	當間 盛夫(そうぞう)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 2期8年の経済・基地問題の成果とそれを踏まえて30年後の沖縄はどのようになると確信をしているのか伺う。</p> <p>(2) 経済界も含めて「世代交代」で新たな沖縄時代を構築するにはどのようなことが必要と考えるか見解を伺う。</p> <p>(3) 沖縄における「集団的自衛権の行使」についてどのように捉えるのか認識を伺う。</p> <p>(4) 普天間基地の5年以内の運用停止について</p> <p>ア 高良副知事の訪米での米国政府の回答を伺う。</p> <p>イ 「運用停止」とはどのような状況と考えるか伺う。</p> <p>ウ 県の移設スケジュール、計画は策定しているのか伺う。</p> <p>(5) 嘉手納基地の「軍民共有化」について見解を伺う。</p> <p>2 沖縄県エネルギービジョンについて</p> <p>(1) スマートエネルギーアイランド基盤構築事業の成果と今後を伺う。</p> <p>(2) 沖縄電力への再生可能エネルギーの導入実証事業の補助総額を伺う。</p> <p>(3) この事業で沖縄県の電気料金の軽減額は全体として幾らか伺う。</p> <p>(4) 沖縄本島・離島の電力系統への太陽光発電設備の接続について現状認識を伺う。</p> <p>3 アスベスト問題について</p> <p>(1) 前定例会で、石綿含有建築物等の調査検討をするとの答弁であったが状況について伺う。</p> <p>(2) 連絡協議会は休眠状態である。アスベスト対策は問題ないという認識か。</p> <p>(3) 當間部長は、アスベストの飛散性問題で「我々経験則からして適正に処理されている」と答弁されたが、どのような経験則で職員の専門性はどのようなものがあるのか伺う。</p> <p>4 一括交付金での県経済に与えた影響について数値で示してもらいたい。</p> <p>5 老朽化する泊魚市場の糸満移設について進捗状況を伺う。</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成26年第3回沖縄県議会(定例会)

07月04日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	新垣 安弘(無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 安全保障と基地問題について</p> <p>(1) 「沖縄県民の中国に対する意識調査」から何が読み取れ、何をすべきか。</p> <p>(2) 3カ国のマスコミの沖縄関連記事の調査から何が読み取れ、何をすべきか。</p> <p>(3) 武力攻撃事態等における自衛隊の住民保護活動について伺う。</p> <p>(4) 本県の消防団や自主防災組織の充実・活性化とボランティア活動の環境整備について伺う。</p> <p>(5) 国民保護措置の実施に当たって、島嶼県であり米軍基地が集中している現状に留意した必要な措置を伺う。</p> <p>(6) 本県の市町村と他府県の市町村との間の防災協定の締結状況を伺う。</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) 県立高校の修学旅行についての検証作業について伺う。</p> <p>(2) 県立進学校(開邦高校)の中高一貫校実現に向けての県教育委員会のスケジュールはどのようになっているのか。また現行敷地内の設置と見られるが、将来的な拡張及び移転等も検討すべきではないか。</p> <p>(3) 昨年の学力テストの成績を踏まえ、県教育庁から各学校へさまざまな指導や働きかけなど、今までにない体制での取り組みがなされてきたと思うが、その内容と成果を伺う。</p> <p>(4) 土曜授業の導入について、モデル校を指定して検討してみてもどうか。</p> <p>(5) 全国学力テストの結果を公表すると思われる市町村への対応と、県教育委員会の方針を伺う。</p> <p>3 文化財行政について</p> <p>(1) 故鎌倉芳太郎氏の功績について</p> <p>ア 彼が残した写真群や研究ノートによって、戦火で失われた貴重な琉球文化や芸術を後世に伝えた功績に加え、首里城等の復元に多大なる貢献をした。こうした功績に何らかの顕彰を行うべきではないか。</p> <p>イ 文化財保護に関する県民的な機運を高める上でも、県民への啓発を行う記念日を設置すべきではないか。</p> <p>(2) 一括交付金で県内各地の文化財の周辺整備が進められているのは、観光資源として位置づけられているのが背景ではないか。その観点から、観光行政の中で文化財保護、鑑賞をどのように位置づけているのか問う。また業界や文化財行政との連絡・意見交換の現状はどうか。</p> <p>4 看護師等修学資金について</p> <p>(1) 平成22年度から平成25年度までの申請者数の推移と同期間の貸与金額について伺う。</p> <p>(2) 看護学校在籍中、貸与を受けるには毎年申請書を提出しなければならないが、在学期間中の申請については簡略化を進めるべきではないか。</p>			